



「伊万里柿右衛門様式色絵馬」2 軀

題材の目標

「色絵馬」の形・表情・色・模様など表現のよさや面白さを味わう。

想像をふくらませて、色絵馬といっしょに遊んでいる絵を描く。

準備物 【教師】「色絵馬」の写真，馬の写真（あれば），色画用紙，パス類，チョークなど

【児童】クレヨン，パス，水彩絵の具など

学習の展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準
<p>「色絵馬」を見て，見つけたことや思ったことを話し合う。</p> <p>* おしゃれなところはどこかな？</p> <p>色絵馬といっしょにどんなことをして遊びたいか想像する。</p> <p>* どんなことをしたい？</p> <p>* おしゃれな馬はどんな馬？</p> <p>色絵馬といっしょに遊んでいる自分を想像して描く。</p> <p>・どんな色が似合うかな</p> <p>・何色の画用紙に描こうかな</p> <p>お互いの作品を鑑賞する。</p>	<p>児童が関心を持ったところ（形・表情・色・模様など）から「色絵馬」の特徴やよさなどに気づかせる。</p> <p>2 軀を比較したり，普通の馬の写真と比べたりして鑑賞を深める。</p> <p>次の絵を描く活動につながるように，想像することを楽しませ，自分が想像した色絵馬や遊びを発表させる。</p> <p>机間指導しながら，児童の発想のよさを紹介したり，想像できにくい児童の思いを引き出したりする。</p> <p>パス類の表現は，点や線や面で描く，重ねてぬる，こすってぼかすなど工夫させ楽しませる。</p> <p>授業後だけでなく活動の途中でも鑑賞し合う場を設定する。</p>	<p>美術作品の表現のよさや面白さに関心をもつ。</p> <p>想像をふくらませ思い付いたことを絵に表そうとする。</p>

題材の意図と指導のポイント

< 児童の発達段階との関連 >

この時期の児童は、体験や関心などをもとに想像したことや思い付いたことを表現しようとしています。「馬」についての知識も実際に乗った経験がある児童や図鑑で見たことがあるなど、児童の体験も関心の強さも個人差があります。ユニークな表情とかわいらしい体形の「色絵馬」は、どの児童にとってもとても新鮮で親しみやすい題材です。

< 鑑賞の視点 >

児童の印象を大切にしながら、形・表情・色・模様などに視点をあて「色絵馬」の特徴や表現のよさを味わわせましょう。

< 指導の工夫及び配慮 >

い ま り か き え も ん よ う し き い る え う ま 「伊万里柿右衛門様式色絵馬」2 軀

現在確認されているものが5 軀あり、長い間フランスで保存されていた2 軀が広島県立美術館に展示されています。この馬は、二つの型を両側から合わせて形を作り、素焼きをした後、透明の「うわぐすり」をかけて焼き、その上に色々な色が出る「うわえのぐ」で文様を描き（上絵付け）、再び焼成して作られました。安定感のあるがっしりとした形、今にも話しかけてきそうな生き生きとした表情、白地に黒でシンプルに表現されたたてがみや模様、赤・黄・青・緑などの釉薬で色鮮やかに描かれている衣など、見る者を引き付けてやまない作品です。

また、この馬は「あかちゃん」「しろちゃん」と呼ばれ、広島県立美術館のマスコットとして多くの人々に親しまれています。

い ま り や き 伊万里焼(有田焼)

有田は、日本の磁器の発祥の地といわれ、伊万里焼は、17 世紀初頭から佐賀県有田町一帯で作られるようになった磁器の総称です。この名称は、ヨーロッパ等へ輸出された有田焼が伊万里港から出荷されたことに由来しています。

初期には、中国の影響が強く染付(中国では青花と呼ぶ)が主でしたが、次第に染付の素地に色絵や金で艶やかな彩色が施されるようになりました。また、上絵付け(赤絵)の技術が完成し、伊万里焼は1659 年オランダの東インド会社が大量買付けを始めヨーロッパへの輸出が盛んになりました。特に、華麗な色絵を施したことで知られる柿右衛門様式と呼ばれる一群は、17 世紀末期には技術は最高潮に達し、ヨーロッパのマイセンをはじめ陶磁器の世界に大きな影響を与えました。

鑑賞活動では、後ろの席の児童まで作品がよく見えるように、画面を大きくしたり前に集めたりして提示方法などを工夫しましょう。

の活動では、児童の想像力が充分発揮できるように自分の思いをしっかりと語らせましょう。想像を広げにくい児童は、友だちの意見を聞くことをきっかけに想像をふくらませ、楽しく活動できるようになるかもしれません。

描きたい絵の感じが表せるように、画用紙は白を含め何種類かの色画用紙を準備しておきましょう。

水彩絵の具を使う時には、筆以外に指やタンポなど使って楽しく表現させましょう。また、コラージュ(貼り絵)などの方法を取り入れてもよいでしょう。

磁器・上絵付け(色絵)、17 世紀後半、高さ 45.0cm

「伊万里柿右衛門様式色絵馬」は、